

【報告】ファッション産業に関連する神戸市の取り組み状況について

1. ファッション産業について

(1) ファッション産業

- ・「ファッション都市宣言」以降，神戸が官民をあげて振興してきた，衣・食・住・遊にわたる生活文化産業全般である。
- ・神戸市内には，真珠加工，ケミカルシューズ，アパレル，清酒，洋菓子，パン，コーヒー，スポーツ関連など，ファッション産業に関連する様々な産業がある。
- ・神戸ブランドとして認知され，都市イメージの向上に貢献している。

(2) ファッション産業を取り巻く環境の変化

近年では，消費者のライフスタイルや嗜好の変化，海外製品との競争激化などにより，各業界において環境変化への対応が求められているとともに，新型コロナウイルス感染症の拡大等，社会全般を取り巻く環境変化にも直面している。

(各業界における環境変化の事例)

- ・清酒産業における消費者の嗜好の多様化や若者の酒離れ
- ・シューズ産業における輸入品のシェア拡大や消費者志向の変化
- ・真珠産業における輸出先の偏重や海外の環境変化

(社会全般を取り巻く環境変化の事例)

- ・人口減少による国内市場の縮小
- ・市場等のグローバル化
- ・Eコマース，キャッシュレス等による販売方法の普及
- ・動画サイトやSNS等による情報発信の多様化
- ・高齢化等による後継者不足

2. 本市における主な取り組み

ファッション産業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、令和3年度も様々な施策を推進していく。

(1) 各業界における環境変化に対する取り組み

①メディアを活用した「ファッション都市・神戸」のPR

- ・「神戸コレクション」(毎日放送主催・令和2年度よりオンラインを活用した取り組みを実施)におけるPR
- ・「Kobe City Cruise Weeks」(衣・食・住・遊を楽しむ神戸のイベントを公式サイト、メディアで集中的にPRする取り組み)の開催
- ・首都圏において、ファッション産業全般のPRイベントである「神戸フェア」を開催

②「灘の酒」のPR

- ・灘五郷酒造組合と灘五郷を有する神戸市と西宮市、両市をつなぐ阪神電気鉄道株式会社によるPR事業を実施
- ・灘五郷酒造組合、神戸市、西宮市による首都圏に向けたPR事業等を実施
- ・令和2年度に「灘の酒」を含むストーリーが、日本遺産に認定されたことを活かしたPRを実施

③ シューズ産業販路開拓支援、神戸シューズのブランディング支援

- ・地域団体商標として登録している「神戸シューズ」等について、EC展開の強化や百貨店・展示会への出展支援
- ・「神戸シューズ®プレミアムライン」の販売戦略策定等、ブランド化の取り組みを支援

④「真珠のまちKOBE」のPR

- ・海外への渡航制限によるビジネス機会喪失等が続く中、業界が取り組む新規販路開拓やPR等を支援
- ・post コロナを見据えて、神戸を国際的な真珠取引拠点にするため、業界が取り組む国際的な南洋真珠入札会の神戸開催を支援するとともに、バイヤー招聘事業をあわせて実施

(2) 社会全般を取り巻く環境変化に対する取り組み

① 神戸市中小企業DXお助け隊事業

- ・幅広い業種の中小企業に対して、デジタル技術を活用し、企業の状況・ニーズに応じた経営課題の解決や事業転換を支援

② オンライン商談会の開催

- ・市内中小企業の商談機会の確保や新たなビジネス機会の創出に対応するため、神戸ものづくり中小企業展示商談会や国際フロンティア産業メッセに加え、オンライン商談会を開催
- ・常設のオンラインマッチングサイトの開設や中小企業のオンライン商談への対応方法の研修等を実施

③ キャッシュレスポイント還元事業

- ・市内飲食店での消費喚起や、非接触のキャッシュレス決済普及のため、中小規模の飲食店を対象に、QRコード®を利用した支払いに対して、市独自のポイント還元キャンペーンを実施

④ 中小企業の越境EC事業に対する支援の強化

- ・市内中小企業の越境EC事業に対する支援を強化し、海外への販路開拓を支援する為、セミナーの開催および専門家による相談体制を充実

⑤ こうべ駅ナカ・街カド チャレンジショップ事業

- ・飲食・小売などの事業者の実店舗・移動販売車などによる起業や事業展開を支援するため、テストマーケティングや販路開拓などを行うチャレンジの場を駅ナカ・街カドなど全市へ展開

⑥ 人材育成の取り組み

- ・神戸ファッション協会等と連携した、若手洋菓子職人向けの実技・作品コンテストを実施
- ・「神戸マイスター制度」において、全国的に通用する卓越した技術・技能者を認定
- ・神戸ファッション美術館において、学生対象の服飾講座や作品展示等を実施